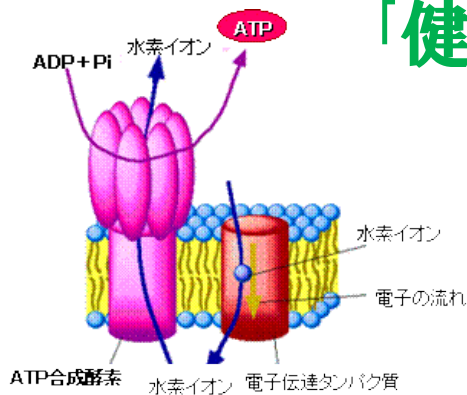


「健康空間」®で成果を出す為には



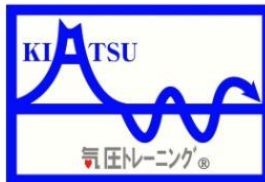
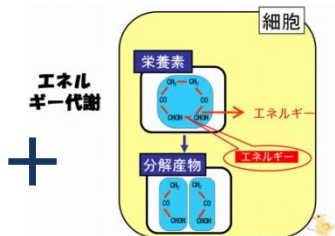
歴史や奇跡などの考察から

- *湯治で有名な場所は高所で熱い温泉が出て岩盤(希土)の場所である。
- *水はエネルギー代謝でも欠かせない絶対条件。
- *地球・太陽・空気が充実している。(フレミングの法則で磁気・電気・力が出る)
- *キー(ここでは要素という)は様々でどれかのキーが合えば免疫の起爆となり、スイッチが入る。
- *重金属や毒素が細胞に溜った状態であれば、腸内洗浄とか尿・汗腺から毒出しをしておくが良い。
- *断食は増強法をする前に完成させておくべきで、ある種の毒出しも兼ねる。
- *現代人は飽食ではあるが、必要な栄養不足でもある。
- *現代食品は、温熱・精製・加工食品、食品添加物、土壌枯れなどが原因で、食物酵素の死活、元々微量だったビタミン・ミネラルがさらに少なくなり、吸収が阻害され、ビタミン・ミネラル不足状態
- *家族に感謝、パートナーに感謝し努力する。

(1 + 1 + 1 + 1 = 10) になるように

温熱 + 栄養 + 酸素 + 電子 = エネルギー代謝の活性

体温を上げる
健康になる



エネルギー代謝によるハイブリッド型自己免疫増強法

高気圧は交感神経で低気圧は副交感神経に作用するというものではない。超高所や超低所のような極端に環境が違ふ条件であると交感神経サイト¹で準低圧や浅い高圧1.3気圧では副交感神経が働く。それを超したならば再び交感神経が働き、最後は死滅状態となりコントロール出来ないのが人間である。温熱でもマイルド²加温は副交感で高温は交感神経が働いてしまう。妙がそうだ。

個人に取りまいている環境を代謝し易い理想的環境としてやり、凶の要素で人為的に刺激・揺さぶる事によって、その人の自己免疫能にスイッチを入れてやる

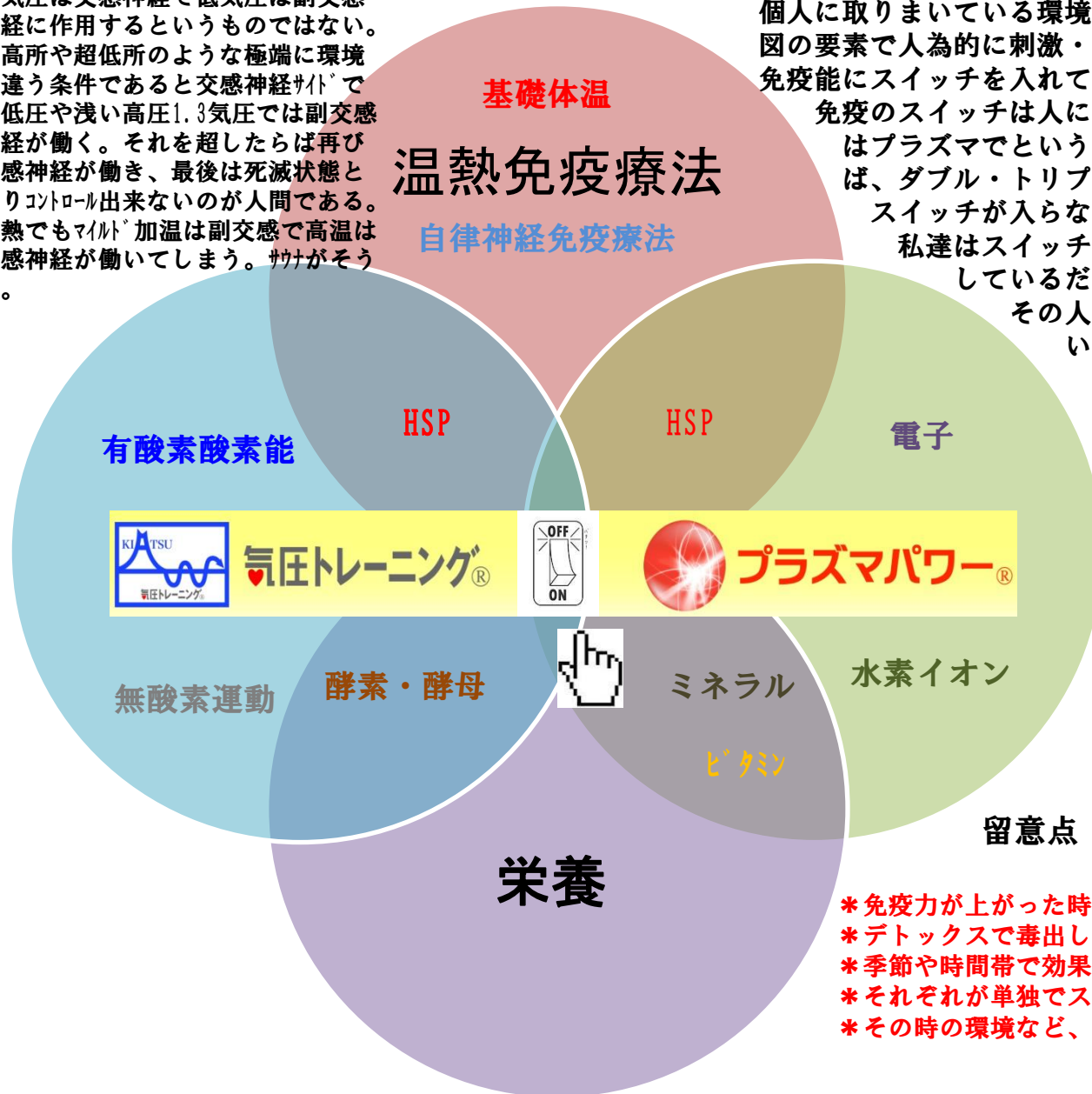
免疫のスイッチは人により違ふので、ある人は温熱である人はプラズマでというように単独でスイッチが入る人も居れば、ダブル・トリプル・クワトロの要素全てしなければスイッチが入らない人も居る。

私達はスイッチが入り易い環境とキッカケをお手伝いしているだけで、あくまでも個人の自己免疫能がその人の不具合な代謝ルーチンを修正していくのである。

その為には環境の要素をAEDのパルスのような緩急を付けてインターバル/サーキットのような変化を持たせON/OFFを繰り返す。

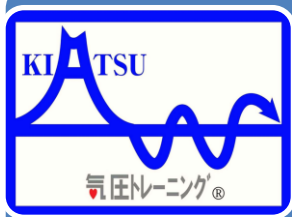
これを「揺らぎ」「揺さぶり」と言って増強トレーニング法の基本パターンとする。個人によっては基本パターンで無く、変化させない水平パターンが良い場合もあるので、個人の反応を見て個別対応をすべきである。

- *免疫力が上がった時には熱が出る・頭痛（戦う免疫の好転反応）
- *デトックスで毒出しした方が良い
- *季節や時間帯で効果に差がでる
- *それぞれが単独でスイッチする人もいるがハイブリッドの方が良い
- *その時の環境など、また個人によって差が出る



留意点

「健康空間」®のエネルギーサポート商品群



気圧トレーニング®

- 気圧室(高・低・バイブリッド型酸素カプセル)
- 整圧プログラム
- 低酸素環境による恒常性維持機能の揺さぶり
- 減圧加圧によるHSP発生で血液組成変化



プラズマパワー®

- 還元電子注入による「代謝」電子伝達系へのスイッチング
- 深部への注入で細胞内ミトコンドリアの活性
- 交流磁気による血流改善



温熱免疫療法商品

- 温熱ベッドによる副交感神経活性
- 岩盤浴や温熱器による交感神経活性
- 温熱効果による体内デトックス
- 基礎体温上昇による全科学反応促進
- 自律神経免疫療法商品



栄養

- 微量金属元素ミネラル水
- プラズマ電位水によるオーダーメイド還元電位水

